



フリーペーパー ペッコ  
**PECCO**  
**VOL.66 2024.2**

発行 岩手県立図書館

図書館探検記 その31  
そめちゃんがゆく!



岩手の歴史に  
欠かさない!

岩手県の有形文化財に指定!!

いわてけん かんかつし  
岩手県管轄地誌



岩手県立図書館で所蔵している『岩手県管轄地誌』が、令和5年11月に、岩手県の有形文化財に指定されました! 文化財とは、わたしたちの歴史の中で生まれ、現代まで守り伝えられてきた文化や伝統、芸術などのうち、価値があると認められたもののこと。今回『岩手県管轄地誌』は、県の有形文化財(美術工芸品・古文書の部)に指定されました。当館の蔵書が文化財として指定されるのは初めてのこと。そんなおめでたい『岩手県管轄地誌』を、そめちゃんが軽めのマニアックさで紹介します!

『岩手県管轄地誌』とは?

岩手県が明治9~18年(1876~85)に編纂した地誌。これは、明治新政府が新事業の一つとして計画した、全国を網羅する統一的地誌『皇国地誌』の岩手県分として編纂・提出されました。

しかし、  
「皇国地誌」刊行は... 実現せず。

事業はあえなく終焉。そのうえ、せっかく提出された各府県の郡・村誌は、後の関東大震災で大部分が焼失してしまいました。

『岩手県管轄地誌』の  
何がすごいのか?

残ってることがすごい! のです。現在当館にある『岩手県管轄地誌』は、「控え、いわゆるコピーです。政府に提出した分は焼失しましたが、なんと控えが2部現存! ひとつは当館、そしてもうひとつはもりおが歴史文化館に所蔵されています。県立図書館のほうを乙本、もりおが歴史文化館のほうを甲本です。

甲本が先に作成され、甲本に修正を加え清書し完成したのが県立図書館所蔵の乙本だよ。



全部で何冊?

第1号~第11号の全11巻からなり、その数なんと131冊。各郡の1冊目は「郡誌」、2冊目以降は「各村誌」で全642村を収録しています。

第1号の岩手郡に始まり、紫波郡、稗貫郡、和賀郡、江刺郡、胆沢郡、磐井郡、気仙郡、閉伊郡、九戸郡、二戸郡の全部で11郡!



要するに  
今で言うところの  
ガイドブックね。



岩手県管轄地誌



付属の各村地図

今回、地図は文化財に指定されていません。残念!



『岩手県管轄地誌』には、村ごとに地図が付されており、岩手県立図書館には整理中のものも含めて600点強の地図が所蔵されています。



最も大きい地図で5メートルを超えるもの!



仁王村(現盛岡市)の地図には「ココに電線入ったよー!」っていうのも記載されてるんだって! さすが都市部!

紫波郡遠山村



どんなことがわかるの?

- 地名調査
- 人口調査
- 産業調査
- 土地利用

約150年前、私たちが住んでいる地域にはどのくらいの人々が住んでいたのか、馬は何頭飼われていたのか、どんな産業が行われていたのか、どんな施設があったのかなど、調べることができます。

デジタル化

『岩手県管轄地誌』をインターネットで閲覧できるようデジタル化作業を進めています。「デジタルライブラリーいわて」で公開の予定です。

貸出可能な影印版もあるよ! 郷土資料カウンターへ来てね!



具体的に何が書いてあるの?

沿革や地勢などをまとめた内容となっています。明治前期の調査で不正確さも一部にはあるものの、当時の状況が事細かに記録されており、岩手県の成り立ちを知るとともに、江戸時代の村の様子、しかも庶民の暮らしを知ることができる貴重な史料です。

字地

字名がわかり、ルビ付きの場合もあり親切。

税地

また税地・無税地では、田、畑、宅地、荒地、開墾中の土地、墓地...など

無税地

土地利用がわかるうえ、各種土地の面積も知ることができます。

Google先生もないのにスゴイよね。10年かかっちゃうの納得。



社 寺 学校

村の小さな寺社も載っています。小学校は学校名に加えて生徒数もわかります。(男子が圧倒的に多い) 郵便局や警察署がある村もあります。

山 川 道路

位置や距離等を説明した情報がとっても細かい。ほかに林や野が何か所あるかも書かれています。また鉱山や、沿岸部では港がある場合も。

戸数 人数 牛馬 舟

人口がわかります。士族がいる場合、平民と分けて記載されています。また家畜数や、沿岸部では舟の数も記載されています。民業として、農・商・工など職業内訳の記載も。(大部分は農)

物産

「米、大豆、小豆、大麦、小麦、馬」等が多いですが、たまに「田螺(たにし)」「河鹿(かじか)」などの記載も。また都市部だと、「紙、筆、蠟燭、鍋」などの日用品も見られます。「鳥越竹細工」で有名な鳥越村(現一戸町)には「竹器」の記載があったりします。



「マルメロ」って知ってる? 漢字で書くと「榴梿」。なんかカリンみたいな果物で、これが特産品として記載されている地域が結構あるんだよ。ちなみに原産国は中央アジアだけど、江戸時代にポルトガル船によって長崎へ伝来したんだって。



# おすすめ新着郷土資料【2023年10月-12月新着分】



## もりのおへやを しょうかいします

茂市久美子 作/しもかわらゆみ 絵  
講談社

山の大きな木の中に住む親切なうさぎが、ある日こんな看板を出しました。「あなたにぴったりのもりのおへやをしょうかいします。おへやのことならおまかせください。」すると、くま、たぬき、ももんがなど色々な動物が次から次へと相談にやってきて…。うさぎはいったいどんなおへやを動物たちに紹介するのでしょうか。作者は岩手県出身です。



## イワさんとニッポちゃん 3000回 SP

そのだつくし 著/岩手日報社

2015年の連載開始から8年半。岩手日報で好評連載中の4コママンガ「イワさんとニッポちゃん」が3千回の大台に到達しました。節目を記念した描き下ろしは、捨て猫だったニッポちゃんの出生の秘密に迫るお話。ペットをめぐる昨今の問題にも切り込みつつ、笑いあり涙ありで描いた長編です。



## 逃げまくった文豪たち 嫌なことがあったら逃げたらいよいよ

真山知幸 著/実務教育出版

結婚式をドタキャンした石川啄木、晩年は禁欲主義が揺らいだ宮沢賢治、地震のとき妻子を見捨てて逃げた芥川龍之介…。人間関係、仕事、お金、約束、勉強から逃避した文豪たちの豪快エピソードを一挙紹介！逃亡のすごさを表した点数や、文豪の“名言”も掲載。「つらいときは、逃げてもいいんだ。」と、勇気と元氣がもらえる一冊です。



## 文豪たちの嘘つき本

彩図社文芸部 編/彩図社

「死んでやる」と言い過ぎて記者にキレられた太宰治。親しい人に嘘のハガキでいたずらをする芥川龍之介。「彼の嘘を聞くと春風に吹かれるようだ」と評された歌人・石川啄木など。どこか魅力的で憎めない文豪たちの嘘を、作品やエピソードをもとに紹介。あなたの知らない文豪たちの意外な素顔に一步近づける一冊です。



## 遠巷説百物語

京極夏彦 著/KADOKAWA

「巷説百物語シリーズ」第6作目。盛岡藩筆頭家老の密命を受け、巷に流れる噂話を調べていた宇方祥五郎。しかし、集まる「ハナシ」は荒唐無稽なものばかり。そんな中、迷家に棲みついた仲蔵という男と出会い、法で裁けぬ悪を祓う小悪党たちが暗躍していることを知ってしまう…。2022年に刊行された新書版を加筆修正し文庫化しました。



## 幽霊ホテルからの手紙

蔡駿 著/船山むつみ 訳/文藝春秋

「あの木匠だけど、幽霊客棧に持って行ってほしいの…」亡くなった女優から託された木匠を届け、海と墓地の間にある幽霊客棧を訪ねた作家から届く12通の手紙。作家が綴る、狂気と惨劇とは一。中国で圧倒的な人気を誇る作家によるホラーミステリー。訳者は盛岡市出身です。※客棧 = 伝統的な中国風建築様式の宿泊施設のこと